

## 公立学校施設の整備

### ◆予算額（公立文教施設整備費）

令和4年度予算額（案）68,834百万円（前年度 68,837百万円）

※沖縄分は内閣府において計上。

【令和3年度補正予算額 131,208百万円】

### ◆内 容

- 学校施設の老朽化がピークを迎える中、子供たちの多様なニーズに応じた教育環境の向上と老朽化対策の一体的整備が必要。
- 中長期的な将来推計を踏まえ、首長部局との横断的な協働を図りながら、トータルコストの縮減に向けて計画的・効率的な施設整備を推進。
- 2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、脱炭素社会の実現に貢献する持続可能な教育環境の整備を推進。

＜新しい時代の学びを支える安全・安心な教育環境の実現～Schools for the Future～＞

1. 新時代の学びに対応した教育環境向上と老朽化対策の一体的整備の推進
  - ・ 学校施設の長寿命化を図る老朽化対策
  - ・ バリアフリー化、特別支援学校の整備
  - ・ 他施設との複合化・共用化・集約化
2. 防災・減災、国土強靱化の推進 令和3年度補正予算
  - ・ 非構造部材の耐震対策等
  - ・ 避難所としての防災機能強化（トイレ改修等）
3. 脱炭素化の推進
  - ・ 学校施設のZEB化（高断熱化、LED照明、高効率空調、太陽光発電等）
  - ・ 木材利用の促進（木造、内装木質化）

### ◆制度改正

- 学校施設以外との複合化を伴う改築、長寿命化改修の補助率引上げ（1/3→1/2）
- 大規模改造事業の上下限額見直し

### ◆建築単価

- LED照明、木材利用など標準仕様の一部見直し等による増 対前年度比 +10.2%  
 ＜小中学校校舎（鉄筋コンクリート造）の場合＞  
 令和3年度 220,700円/m<sup>2</sup> → 令和4年度 243,300円/m<sup>2</sup>
- 脱炭素化先行地域などの学校施設ZEB化に向けた新たな単価加算  
上記改定単価に加えて+8.0%

# 公立学校施設の整備

新しい時代の学びを支える安全・安心な教育環境の実現～Schools for the Future～

令和4年度予算額(案) 688億円  
(前年度予算額 688億円)  
令和3年度補正予算 1,312億円



## 背景

- ◆ 学校施設の老朽化がピークを迎える中、子供たちの多様なニーズに応じた**教育環境の向上と老朽化対策の一体的整備**が必要。
- ◆ 中長期的な将来推計を踏まえ、**首長部局との横断的な協働**を図りながら、**トータルコストの縮減に向けて計画的・効率的な施設整備**を推進。
- ◆ 2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、**脱炭素社会の実現に貢献**する持続可能な教育環境の整備を推進。

### 1 新時代の学びに対応した教育環境向上と老朽化対策の一体的整備の推進

- 学校施設の長寿命化を図る老朽化対策
- バリアフリー化、特別支援学校の整備
- 他施設との複合化・共用化・集約化



他施設との複合化により学習環境を多機能化しつつ、効率的に整備

老朽化対策と一体で多様な学習活動に対応できる多目的な空間を整備



柱や内装に木材を活用し、温かみのある学習環境や脱炭素化を実現

### 2 防災・減災、国土強靱化の推進 令和3年度補正予算

- 非構造部材の耐震対策等
- 避難所としての防災機能強化 (トイレ改修等)

避難所としての防災機能強化



多機能トイレの整備

### 3 脱炭素化の推進

- 学校施設のZEB化 (高断熱化、LED照明、高効率空調、太陽光発電等)
- 木材利用の促進 (木造、内装木質化)

## 新しい時代の学校施設

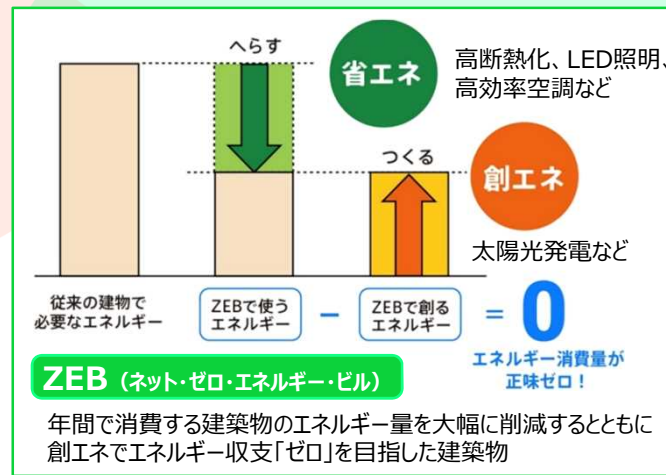
## 脱炭素化

## 国土強靱化

激甚化・頻発化する災害への対応



台風で屋根が消失した体育館



## 具体的な支援策

- 制度改正：
  - 学校施設以外との複合化を伴う改築、長寿命化改修の補助率引上げ (1/3→1/2)
  - 大規模改造事業の上下限額見直し
- 単価改定：
  - LED照明、木材利用など標準仕様の一部見直し等による増 **対前年度比 +10.2%**  
小中学校校舎 (鉄筋コンクリート造) の場合  
R3:220,700円/㎡ ⇒ R4:243,300円/㎡
  - 脱炭素化先行地域などの学校施設ZEB化に向けた新たな単価加算 **上記改定単価に加えて+8.0%**

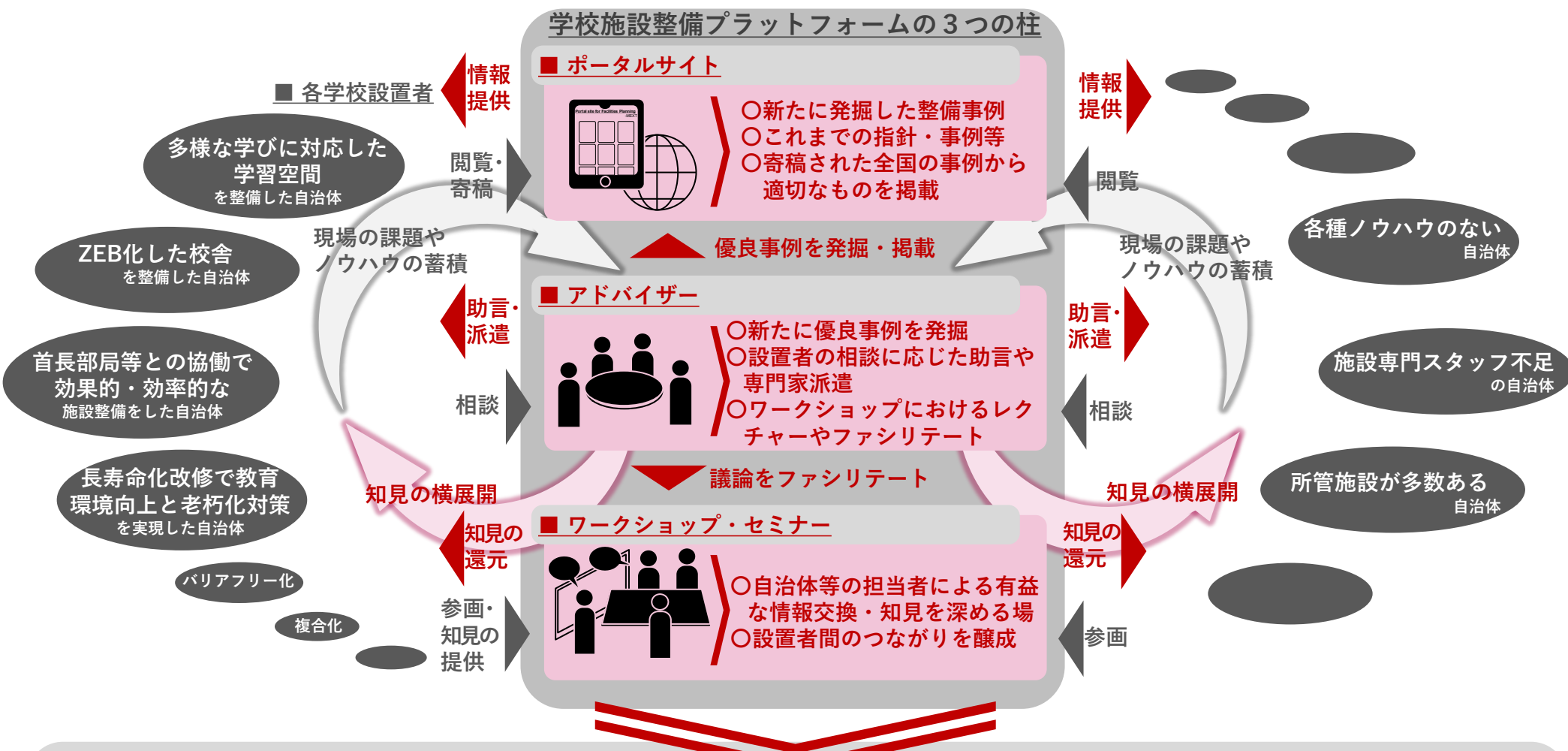
# 新時代の学びに対応した学校施設整備推進プラットフォーム構築事業(委託事業) 令和4年度予算案 0.3億円

- 国や有識者からの情報発信や相談体制の整備と、学校設置者同士のネットワークの形成を目指して -

- Society5.0時代・ポストコロナ社会において、「令和の日本型学校教育」の構築を目指して、1人1台端末環境のもと、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現が求められており、新しい時代の学びに対応した施設環境の整備が重要であり、文部科学省において検討を進めてきた。
- 一方で、それらの全国への普及啓発を加速化し、各学校設置者の施設整備を支援する必要がある。

新時代の学びに対応した学校施設整備を着実に推進していくため、以下の機能を有するプラットフォームを構築する。

- ★これまで蓄積してきた基本的な情報の発信
- ★有識者による相談体制の構築により、専門的・技術的なアドバイスを展開
- ★具体的な実践につながる整備事例・ノウハウの蓄積・発信
- ★好事例を着実に横展開するための現場同士のネットワーク化



自治体間のネットワークを構築し、更なる「新しい時代の学びの環境整備」を加速化

# 新しい時代の学びの環境整備 先導的開発事業

## 「令和時代の学校施設スタンダード」となる施設整備モデルの構築に向けて

令和4年度予算額（案）  
14,304千円

### 趣旨

- Society5.0時代・ポストコロナ社会において、「令和の日本型学校教育」の構築を目指して、1人1台端末環境のもと、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実が求められており、新時代の学びに対応した施設環境の整備のモデルを構築するため、最新の知見等も踏まえた先導的なモデル研究を実施し、横展開を図る。

### 事業内容

- 学校設置者がコンサルタント等と連携し、学校建築や学校教育の有識者、学校関係者、地域住民、首長部局等を交えた協議会を設置し、基本計画等の策定、計画・設計プロセスの整理を実施。 ※文部科学省の有識者会議委員（学校建築、学校教育の専門家）もアドバイザー等として派遣
- 国は、本事業を通じて、新時代の学びに対応した学校施設の計画・設計事例を蓄積、横展開を図る。

### 公募対象

- (1) 国公立の小中学校の設置者
- (2) (1) 以外の法人（特定非営利活動法人、民間企業等）  
※（2）の場合、計画策定の対象校の学校設置者と連携して実施

### 採択件数

- 2～3件程度選定予定  
※既存施設の改修と、新築で、同数程度をイメージ

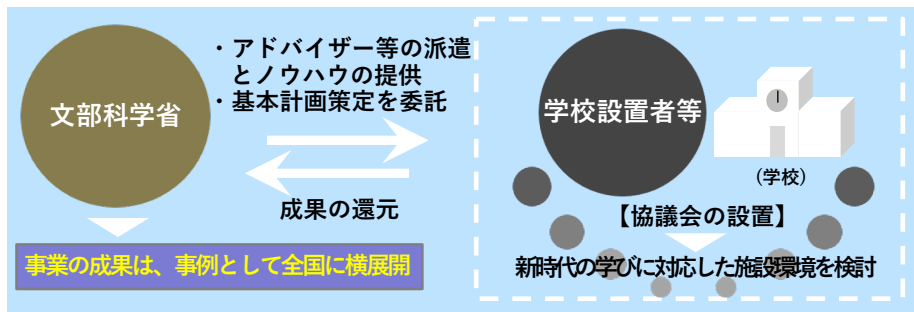
### テーマ

以下の視点（例）を踏まえた新たな学校施設モデル研究を募集

- ・ 少人数による指導体制への対応を含め、個別最適な学びと、協働的な学びを一体的に充実する施設環境の整備
  - ・ 多様な学習活動に対応する施設環境の整備
  - ・ 新しい生活様式を踏まえ、健やかに学習・生活できる環境の整備
  - ・ 人口動態等を踏まえた効率的・効果的な施設環境の整備
- 上記のほか、学校の特色・魅力を引き出す創意工夫をプラス

### 成果物

新しい時代の学びに対応した学校施設モデルの基本計画及びビジュアルイメージ（学びのイメージ含む）



### 委託範囲プロセス

申請・採択 1年目 基本計画 2年目 実施設計 3年目 工事

申請 > 採択・キックオフ > 中間報告(9-10月) > 最終報告(年度末) > 適時の報告

採択後 委託対象 国としてもフォローアップ

採択後、事業実施者等を対象にキックオフミーティングを開催。

- 本モデル研究を実施するための協議会の設置・運営に係る経費を支援（ワークショップ等を通じ、新時代の学びや具体的な施設環境について議論）
- 新時代の学びに対応した学校施設モデルの基本計画の策定及びスケッチ作成に係る経費を支援

学校施設環境改善交付金等にて実施設計や改修工事等を支援。

